# Bitを活用しよう!

2017-08-08 競プロ強化カリキュラムLT会

@mt\_caret

# 二分木の全探索

2択を1ビットで表し $[0,2^N)$ の範囲でforループで回すと全ての状態を列挙することができる。

参考: 実践・最強最速のアルゴリズム勉強会 第二回講義資料

## 例 (ABC002-D 派閥)

- N人の間にあるM個の人間関係を与えられ、全員が全員の間と 関係を持っている最大人数のグループの人数を計算せよ
- $1 \le N \le 12$
- $0 \le M \le N(N-1)/2$

### 例 (ABC002-D 派閥)

- 1. 全てのグループのとり方を列挙
- 2. グループ全員が全員の間と関係を持っているかどうかを走査
- 3. 条件を満たすようなグループの人数の最大人数を見つける

## 例(ABC002-D 派閥)

```
~省略~
  int ans = -1
  for (int r = 0; r < (1 << 12); r++) {
    bool flag = true;
    for (int i = 0; i < 11; i++) {
      if ((r >> i) % 2) {
        for (int j = i + 1; j < 12; j++) {
          if ((r >> j) % 2) flag = flag && table[i][j];
    if (flag) ans = max(ans, __builtin_popcount(r));
  cout << ans << endl;</pre>
~省略~
```

- (1 << n)  $2^N$
- (a >> b) % 2 aのbビット目が立っているか
- \_\_builtin\_popcount(x) xの立っているビット数

#### 小手先のテクニック色々

- スワップ if (a != b) { a ^= b; b ^= a; a ^= b; } std::swap() 使いましょうという話もある
- 最下位ビットをOにする a &= a-1
- 立っているビットの偶奇 \_\_builtin\_parity(x)

#### 参考

- 明日使えないすごいビット演算
- へ、変態っ!!読めないからやめてっ!bit使ったデータ構造・アルゴリズム実装集
- 6.59 Other Built-in Functions Provided by GCC

# 発展的なトピック色々

- BitDP → 蟻本やAtCoder資料参照
- FFT用の高速なBit反転
- Bitwise Tricks & Techniques